**2　平面デザインと電子回路の関係性の調査**

**2.1**

実例紹介

この章では、平面デザインと電子回路の関係性について、いままでの事例をふまえて説明していく。

電子回路をアナロジーとして平面デザインをする事例

Harry Beck はロンドンの地下鉄の「チューブマップ」を生み出した人物で有名である。

従来の地図上に則った路線図では、目的駅までの経路や乗り換えがわかりづらく、不便であった。Harry Beckはエンジニアであり、回路図を作成している際、このチューブマップのアイデアを思いついた。チューブマップは、実際の地図上の情報を一切そぎ落とし、どの線がどの目的地に行き、どこで乗り換えが必要なのかを視覚的にわかりやすく表現している。乗り換え地点は路線同士が繋がっており、回路図のように一目でわかる情報になっている。

本来電子回路ではないものを電子回路化する事例

アーティストのスズキユウリ氏は、Harry Beckが発案したこの「チューブマップ」を実際に電子回路として電子基板を作っている。スズキユウリ氏の作品「TUBE MAP RADIO」は、ロンドン地下鉄のチューブマップを元に、抵抗やコンデンサーなどをそれぞれ象徴的な建築物に置き換えて、視覚的にも面白いラジオとなっている。

また、「moeco」という商品は、東京駅の路線図を元に、スマホケースやICカードケースなどを作成している。東京駅の場所にはLEDチップが埋め込まれており、改札口でICカードを反応させると、同時に光る仕組みになっている。